

「筑後川水系ダム群連携事業」を水資源機構が事業承継します

国土交通省において実施されている「筑後川水系ダム群連携事業」について、令和5年度より、独立行政法人水資源機構が承継して実施することになりますのでお知らせします。

令和5年4月1日に、国土交通大臣から、筑後川水系ダム群連携事業の承継を受け、水資源機構では、同日付けで筑後川局に「朝倉ダム総合事業所」を設置し、同時期に事業化する「寺内ダム再生事業」と併せ二つの事業に着手します。

「筑後川水系ダム群連携事業」は、筑後川の本川から支川の佐田川へ導水施設を建設するとともに、両筑平野用水施設（江川ダム）、寺内ダム及び小石原川ダムの有効活用を行うことにより、筑後川の適正な河川流量の保持を図るものです。

「寺内ダム再生事業」は、既存の洪水放流設備の改築及び貯水池容量配分の変更により、洪水調節機能の増強を図るものです。

事業の実施にあたっては、現在運用中の江川ダム、寺内ダム及び小石原川ダムの管理を適切に実施するとともに、関係機関との調整を図りつつ、事業の計画的かつ確かな実施に努めてまいります。

なお、「筑後川水系ダム群連携事業」の引渡し式を、九州地方整備局において4月4日に実施します。



令和5年3月31日

独立行政法人水資源機構

発表記者クラブ

国土交通記者会
水資源記者クラブ
久留米市政記者クラブ
佐賀県政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 総務部広報課 中原、下島
住 所：埼玉県さいたま市中央区新都心11-2
電 話：048（600）6513（広報課直通）

【参考】ちくごがわ 筑後川水系ダム群連携事業

○筑後川本川の流量が豊富な時に支川佐田川へ最大2.0m³/s導水し、江川ダム、寺内ダム、小石原川ダムの利水容量の空き容量を活用することで、流水の正常な機能の維持を図る。

事業概要

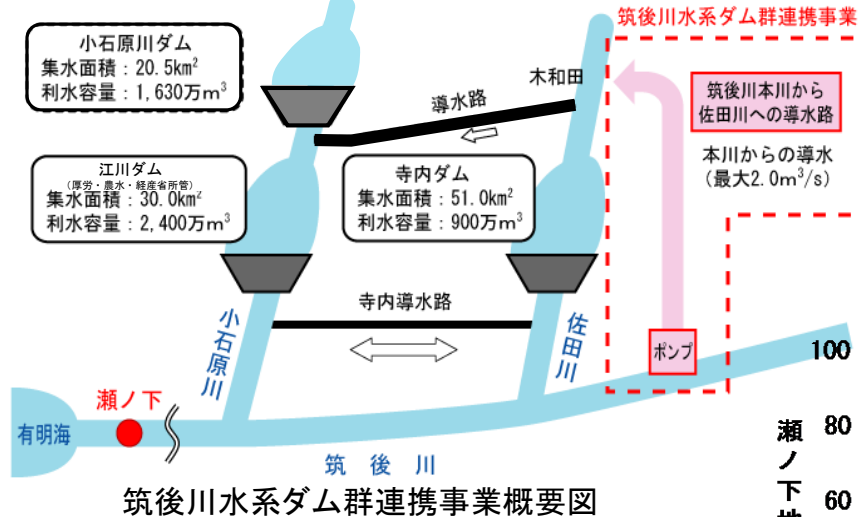
○場所: 福岡県朝倉市外 あくら

【筑後川水系ダム群連携事業(筑後川本川から佐田川への導水路)】 さだがわ

○目的: 流水の正常な機能の維持

○諸元: 導水路 約10km、最大導水量 2.0m³/s

※当事業により小石原川ダムの水位が年間を通じて高くなることから、ダム管理用発電の増電にも寄与する。



流域図



位置図



主な渇水による被害 (H6.7~H7.6)

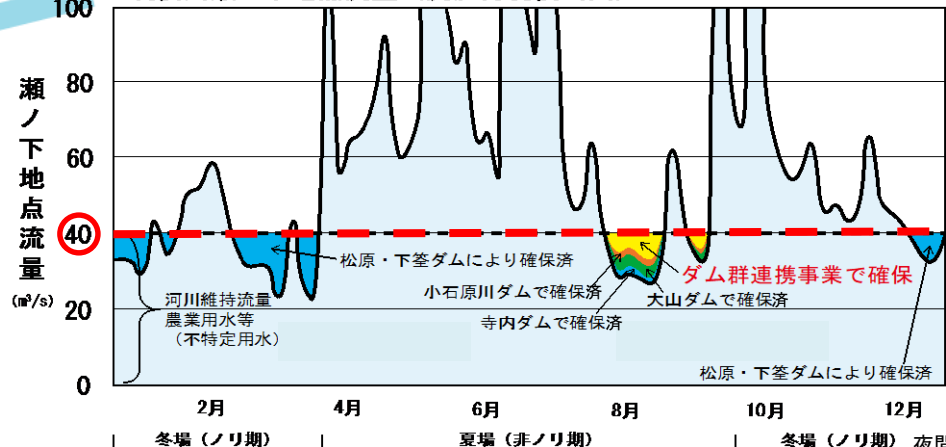


田面がひび割れし枯死した稲



夜間に必要な水を貯める看護師

筑後川瀬ノ下地点流量 (流況再現模式図)



事業の効果

ダム群連携事業により流量が豊富な時に筑後川本川から佐田川に導水し、江川ダム・寺内ダム・小石原川ダムの利水容量の空き容量を活用することにより不特定容量を確保し、夏場に40m³/s確保することで既得用水の安定化・河川環境の保全を図る。

【参考】^{てらうち}寺内ダム再生事業

○サーチャージ水位の見直し及び容量振替により、現況の洪水調節容量を700万 m^3 から880万 m^3 に増大させるとともに、洪水調節容量の増大に伴い非常用洪水吐きの改造を行うことで、治水機能の向上を図る。

事業概要

○場所: 福岡県朝倉市荷原 ^{あさくら いないばる}

【寺内ダム(洪水調節容量の増量、非常用洪水吐きの改造)】

^{ちくごがわ さだがわ}
筑後川水系佐田川

○目的: ①洪水時最高水位の見直し、利水容量振替による洪水調節容量の増量

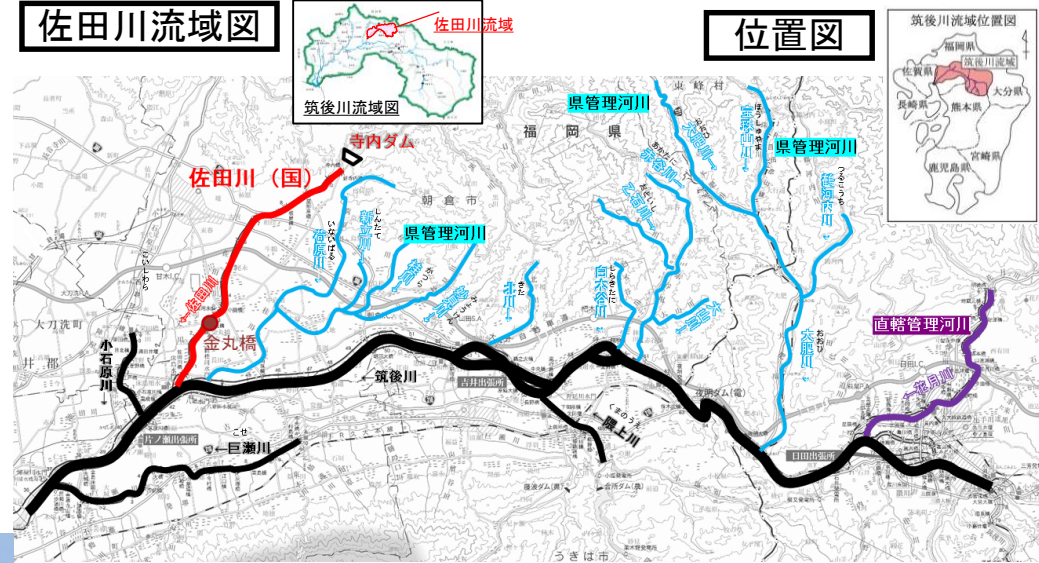
洪水調節容量700万 m^3 → 880万 m^3 (180万 m^3 増)

②洪水時最高水位見直しに伴う非常用洪水吐きの改造

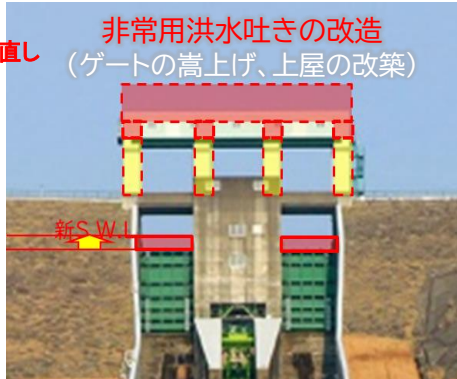
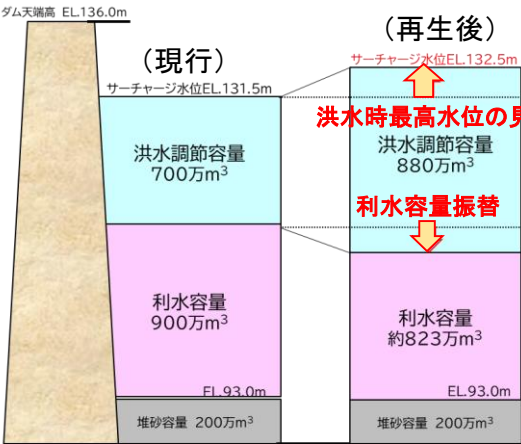
○諸元: ダム高83m、総貯水容量1,903万 m^3 (ダム再生後)

※本事業に関連して、ダム群連携事業による流況改善とあまった増電方策として、発電機の新設について検討を進める。

佐田川流域図



位置図



主な災害

洪水	被災状況
H29年7月洪水	床上浸水: 282戸 床下浸水: 567戸 花月川や中流右岸支川(赤谷川等)で大きな洪水を記録。
H30年7月洪水	床上浸水: 282戸 床下浸水: 1,011戸 久留米市において、甚大な内水被害を記録。
R2年7月洪水	床上浸水: 355戸 床下浸水: 1,600戸 久留米市において、甚大な内水被害を記録。
R3年8月洪水	床上浸水: 282戸 床下浸水: 567戸 久留米市において、甚大な内水被害を記録。

H29年7月洪水による被害

赤谷川 被害状況



寺内ダムの状況



事業の効果

河川改修と併せて寺内ダム再生を行うことにより、H29年7月洪水と同規模の洪水に対して、被害の防止又は軽減を図る。

浸水世帯数 : (ダム再生前)604世帯 → (ダム再生後)0世帯

浸水面積 : (ダム再生前)1,086ha → (ダム再生後)16ha

※被災状況は、筑後川全体の被害を記載

江川ダム

位 置 福岡県朝倉市江川地先
河 川 小石原川
型 式 重力式コンクリートダム
堤 高 79.2m
堤 頂 長 297.9m
堤 体 積 約261,000m³
堤 頂 標 高 EL.227.2m



寺内ダム

位 置 福岡県朝倉市荷原地先
河 川 佐田川
型 式 ロックフィルダム
堤 高 83m
堤 頂 長 420m
堤 体 積 約3,000,000m³
堤 頂 標 高 EL.136.0m



小石原川ダム

位 置 福岡県朝倉市江川地先
河 川 小石原川
型 式 ロックフィルダム
堤 高 139m
堤 頂 長 約558m
堤 体 積 約8,700,000m³
堤 頂 標 高 EL.359.0m

